

2015/5/20 12:45

丹波の鹿肉おいしいよ 飲食店主らパンフレットでPR



鹿肉の魅力をキャラクター「モミジビエくん」が紹介するパンフレット=丹波市春日町中山

拡大

ヘルシーな食材、鹿肉の消費拡大を図ろうと、兵庫県丹波市内の販売業者や飲食店主らがその魅力、料理提供店などを紹介するパンフレットを作製した。今後、行政と協力し、観光客へのPRにも力を入れる。(今泉欣也)

鹿肉は高タンパク低カロリーで鉄分を多く含み、健康食として注目を集める。鹿の増加に伴う農林業被害が広がる中、市内では年間千頭以上が捕獲されており、同市氷上町の施設などで処理・加工されている。

パンフレット作製は、鹿肉の普及と販路拡大を目指すプロジェクト「丹波モミジビエ」の一環で、市内の関係者でつくる推進委員会が企画。同市春日町の企画・デザイン会社「ご近所」が手掛けた。

鹿肉を海外の資源を消費することのない、里山での暮らしで受け継がれる郷土料理と位置付ける。その上で栄養価の高さや、消費が自然体系の維持につながることを説明。鍋、カレーなどを提供する九つの参加店も地図入りで掲載した。

地元グルメとしての定着を目指し、丹波市も市内業者から仕入れた肉を販売、調理提供する店に奨励金を交付したり、ガイドブックやレシピ本を発行したりする。担当者は「行政にない民間のネットワークと連携し、さらなる消費拡大につなげたい」と話す。

A4判三つ折りで千部作成。現在は掲載店にのみ置いているが、ホームページでも見られる。丹波モミジビエ企画事務局TEL0795・78・9603